養護実習に行ってきました！

就実大学
教育学部教育心理学科
養護実習指導Aチーム

2021年11月28日発行

◇令和3年度養護実習が無事に終了しました!

私たちは、令和3年8月末～10月末にかけて3～4週間のあいだ、母校の小中学校で養護実習を行いました。コロナ禍での実習でしたが、先生方や児童生徒が温かく迎え入れてくださり、ほとんどの人が実習を無事終えることができました。Aグループでは、12人中4人が中学校、8人が小学校での実習を行いました。岡山県や香川県、広島県、高知県、兵庫県など多くの地域で受け入れていただきました。実習では、保健室での来室者対応や授業実践、保健だよりなどの掲示物作成等、様々な活動を行い、多くの学びを得ることができました。中には、就学時検診や医療的ケア児との交流など貴重な経験をさせていただいた人もいました。コロナ禍での制限が多く、児童生徒との関わりや保健室での活動が思うようにできないといった苦労もありました。一方で、不登校気味の生徒と関わるうちに、生徒が心を開いてくれるようになり、登校できるようになっていったという、養護教諭を目指す者として自信がつくエピソードもありました。休み時間に児童生徒と遊んだり会話をしたりといった交流を持つことで楽しく実習期間を過ごすことができました。

実習を受け入れてくださった先生方と児童生徒への感謝への気持ちを忘れず、これから良い養護教諭を目指して一生懸命取り組んでいきます！

養護実習

就実大学
教育学部教育心理学科
養護実習指導Bチーム

2021年12月1日発行

令和3年度養護実習が無事に終了しました!

私たちは、令和2年8月末～10月末にかけて3～4週間のあいだ、母校の小中学校で養護実習を行いました。実習を行った地域は、岡山県、広島県、島根県、鳥取県、高知県、徳島県です。

実習では、健康観察、応急処置、保健指導など様々な活動を経験させていただきました。健康観察では朝各教室を回り健康チェックカードの確認や子どもたちの様子を観察しました。応急処置では、擦り傷・切り傷やだるい・しんどいと訴えた児童生徒に対してケガや体調不良への対応に加えて、発生予防のための個別保健指導を行いました。また、コロナ禍ならではのワクチンの副作用による来室者が多かったです。保健指導では、それぞれの学校の健康課題に即した題材を用いて授業を行いました。

実習で学んだことは、養護教諭は一人職であるため連携が大切であるということ、児童生徒一人一人の発達段階に合わせた対応を行っていくことが大切であるということです。実際に児童生徒と関わることや、先生方の連携や児童生徒への対応を見て大学では学ぶことができない多くの学びを得ることができました。

実習期間中には悩むことや勉強不足を痛感することもありましたが、充実した楽しい毎日でした。また、実習で今までの経験全てが養護教諭に生かされることを知りました。何事にも全力で取り組み、人としての引き出しを増やしていきたいと思います。これから実習に行かれる皆さん、不安もあると思いますが、積極的な行動を心がければ沢山の学びを得ることができると思うので頑張ってください。応援しています！

養護実習を終えて

就実大学
教育学部教育心理学科
養護実習指導Cチーム

2021年12月1日発行

令和3年度 養護実習が無事に終了しました!

私たちは、令和2年8月末～10月末にかけて3～4週間のあいだ、母校の小中学校で養護実習を行いました。私たちのグループは、岡山県、広島県、島根県、高知県、鹿児島県など多くの地域で養護実習を受け入れていただきました。活動内容としては、保健指導や健康診断、就学時健診、学校行事の補助、保健だよりの作成など様々な体験から、大学では学ぶことのできない多くの経験を得ることができました。

印象に残ったことは、中学校での体育祭練習中に熱中症による救急車要請があったことです。その際の生徒の症状や様子、教職員間の連携を間近で見て、自らやるべきことを考えて臨機応変に対応しながら、緊急時の大変さを知ることができました。また、養護実習中に困ったことは、冷水器が塩素濃度を達しておらず、飲み水として使えなかったことです。その時、養護教諭は毎日水質検査を行い、塩素の不足を細かく確認されていました。体育祭シーズンだったこともあり、ウォータージャグを用意してお茶が足りなくなった生徒は随時そこで水分補給をさせるよう指示していました。この体験から、普段から危険を予測し、その時々に応じて対応する力を身に付けていきたいと思いました。

養護実習で、様々な困難に対応しながらも子どもたちとの対話を楽しみ、保健室業務を行うことができました。養護実習での学びを今後に活かしていきたいです。